

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	高階モデル検査の深化と発展
研究代表者	小林 直樹（東京大学・大学院情報理工学系研究科・教授）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	<p>本研究は、ソフトウェア自動検証という実用的にも重要な技術の適用対象を広げることを目的に、基礎理論からモデル検査ツール開発による実証までを統合的に進めるものである。応募者による基礎研究の成果は国際的に認知されており、さらに、ツール試作によって実用的な応用の可能性を示した点は高く評価できる。本研究の推進は、検査対象の大規模化を克服するモジュラー検証法、データ圧縮と知識発見への応用など、高階モデル検査の理論を発展させて大きな成果につながる可能性がある。</p> <p>本研究は、当該研究分野をリードし、日本が世界に誇れる研究であり、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>